

令和2年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

1 みんなで未来につなぐまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
社会動態増減数	社会減 121人 <small>(過去5年間平均)</small>	社会減 114人					社会減 5人 <small>(計画期間内平均)</small>
坂井市へのU・Iターン数	Uターン 35人 Iターン 16人 <small>(平成30年度)</small>	Uターン 26人 Iターン 38人					Uターン 70人 Iターン 30人 <small>(令和6年度)</small>

<基本構想における事業毎の効果>

A.効果があった	24/59件	基本構想対象の事業59件のうち、56件の事業に着手しました。効果あった事業は24件で、4割程度が共生・協働の社会に向け寄与しております。地域ブランド調査においては順位が下がっているものの、坂井市へのUIターンの人数は64人で平成30年度に比べ13人増となっており、また高校生アンケートでは坂井市への定住率希望も高くなっているため一定のシビックプライド醸成が図られていると考えます。引き続きまちづくりカレッジ等による人材育成を含め人口減少の中でも持続できるまちづくりの取組みが必要であります。
B.将来的に効果が期待できる	27/59件	
C.小さい効果があった	5/59件	
D.未着手	3/59件	

<基本計画および方針>

1-1 誰もが暮らしやすい共生社会の推進						事業毎の効果	
①【誰もが生き生きと暮らせる社会づくりの推進】 ②【あらゆる分野での男女共同参画とダイバーシティ（多様性の尊重）の推進】						A：1/7件	B：6/7件
						C：0/7件	D：0/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
「イクボス宣言企業」事業所数	58企業 <small>(平成30年度)</small>	64企業					80企業 <small>(令和6年度末)</small>
「イクボス宣言企業」男性の育休取得事業所数	—	—					15企業 <small>(計画期間内)</small>
女性活躍推進講座等参加人数	20人 <small>(令和元年度)</small>	34人					200人 <small>(計画期間内)</small>

<基本計画および方針>

1-2 多様な主体と連携した協働のまちづくり推進						事業毎の効果	
①【地域の特性を活かした協働のまちづくりの推進】 ②【広報広聴など市民との対話の充実】						A：3/10件	B：3/10件
						C：1/10件	D：3/10件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
まちづくりカレッジ修了者数	23人 <small>(平成30年度) (過去3年累計)</small>	19人					60人 <small>(計画期間内)</small>

<基本計画および方針>

1-3 国際・都市間交流の推進						事業毎の効果	
①【国際交流を通じたグローバル人材の育成と多文化共生意識の醸成】 ②【都市間交流を通じた地域の活性化とシビックプライドの醸成】						A: 3/6件	B: 3/6件
						C: 0/6件	D: 0/6件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
地域ブランド調査 魅力度順位 (ブランド総合研究所)	872位 (平成30年度)	929位					500位以内 (令和6年度)

<基本計画および方針>

1-4 関係人口の拡大と住みよさの実感						事業毎の効果	
①【次世代の担い手育成と関係人口の拡大】 ②【魅力ある地域づくりの推進】 ③【住みよさを高める環境の整備】 ④【坂井市に住みたくなる魅力を全国に発信】						A: 9/18件	B: 6/18件
						C: 3/18件	D: 0/18件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
高校生アンケート 坂井市への定住希望率	28.5% (平成30年度)	36.0%					35% (令和6年度)
Tキャンプ参加者数	134人 (平成30年度) (過去3年累計)	54人					300人 (計画期間内)
三国湊・丸岡城下町における空き家リノベーション件数	9件 (平成30年度) (過去7年累計)	2件					10件 (計画期間内)
結婚へのきっかけ創出の事業実施数	33件 (平成30年度) (過去8年累計)	2件					25件 (計画期間内)
子育て世帯 (15歳未満の子がいる世帯) の転入数	190世帯 (平成30年度)	174世帯					200世帯 (令和6年度)
地域ブランド調査 居住意欲度順位 (ブランド総合順位)	843位 (平成30年度)	966位					500位以内 (令和6年度)

<基本計画および方針>

1-5 効率的な行財政運営の推進						事業毎の効果	
①【効率的な組織体制・人員配置の構築】 ②【安定した財源確保と持続可能な財政運営】 ③【公共施設の適正なマネジメント】						A: 8/18件	B: 9/18件
						C: 1/18件	D: 0/18件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
RPAにより、事務作業が自動化された数	1件 (平成30年度)	0件					10件 (計画期間内)

<外部有識者評価>

1.効果があった	まちづくりカレッジ等による人材育成については、受講した人が地域に入ってまちづくりに携わるなど市民が参画しながら進められおり、今後も期待できる。高校生アンケートについては目標値には達成しているところは評価できるが、より高い数値となるよう地域の魅力づくりや、それを市内外に伝えていく取組みを継続していくことが必要である。共生社会の推進にイクボス事業所の増だけでなく、その内容の充実を促すことも重要と考える。
2.将来的に効果が期待できる	
3.小さい効果があった	



令和2年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

2 互いに思いやりを支え合うまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
出生数	684人 <small>(過去5年間平均)</small>	537人					720人 <small>(計画期間内平均)</small>
健康寿命	男性 79.70歳 女性 84.03歳 <small>(平成30年度)</small>	男性 79.99歳 女性 84.64歳					男性 81歳 女性 85歳 <small>(令和6年度)</small>

<基本構想における事業毎の効果>

A.効果があった	81/106件	基本構想対象の事業106件のうち、効果あった事業は81件で住民福祉の向上に繋がっていると考えます。少子高齢化の中、出生数は減少しているが、継続的に保育園・児童クラブの待機児童のゼロを継続していくなど、安心して子どもを育てられる体制づくりを図っていくよう努めていきます。健康寿命は微増となっています。高齢者福祉について、令和2年度はコロナ禍で実施数が減少しましたが、通いの場やシニアクラブ活動を実施していくことで元気に過ごすことに繋がるため、継続した支援が重要と考えます。
B.将来的に効果が期待できる	22/106件	
C.小さい効果があった	2/106件	
D.未着手	1/106件	

<基本計画および方針>

2-1 地域福祉の充実						事業毎の効果	
①【安心して暮らせる地域共生社会づくりの推進】 ②【地域主体で取り組む地域福祉推進体制の充実】 ③【多機関の協働による包括的支援体制の構築】						A: 3/6件	B: 3/6件
						C: 0/6件	D: 0/6件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
地域力強化推進事業実施地区	累計1地区 <small>(平成30年度)</small>	0地区					累計20地区 <small>(計画期間内)</small>

<基本計画および方針>

2-2 児童福祉の充実						事業毎の効果	
①【幼児教育及び保育環境の充実】 ②【安心できる子育て支援の充実】 ③【子育て相談及び支援体制の充実】						A: 42/45件	B: 2/45件
						C: 1/45件	D: 0/45件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
保育園等待機児童ゼロの維持	待機児童ゼロ <small>(平成30年度)</small>	待機児童ゼロ					待機児童ゼロ <small>(令和6年度)</small>
放課後児童クラブ待機児童ゼロの維持	待機児童ゼロ <small>(平成30年度)</small>	待機児童ゼロ					待機児童ゼロ <small>(令和6年度)</small>
子育て支援アプリ利用率 <small>(登録されている0～5歳児の割合)</small>	—	11.9%					50% <small>(令和6年度末)</small>

<基本計画および方針>

2-3 高齢者福祉の充実							事業毎の効果	
①【身近で取り組みやすい介護予防の充実】 ②【多様な主体との連携による包括的支援体制の充実】 ③【高齢者の居場所づくりと社会参加の推進】							A：13/26件	B：13/26件
							C：0/26件	D：0/26件
							目標値	
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
通いの場実施地区	9地区 (平成30年度)	6地区					20地区 (令和6年度)	
認知症サポーター養成講座受講人数	5,421人 (平成30年度時点)	6,667人 (R2年度時点)					10,000人 (令和6年度末)	

<基本計画および方針>

2-4 障がい者福祉の充実							事業毎の効果	
①【障がいに対する理解促進と社会的障壁の解消】 ②【障がいのある人が安心して暮らせる地域環境の整備】 ③【障がいのある人の就労の促進と社会参加への支援】							A：2/4件	B：1/4件
							C：1/4件	D：0/4件
							目標値	
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
障がい者理解のための研修や啓発活動の実施件数	年間2件 (平成30年度)	年間3件					年間5件 (令和6年度)	
地域生活支援拠点の数	0箇所 (平成30年度)	1箇所					累計1箇所 (令和6年度)	
一般就労した障がい者の人数	年間14人 (平成30年度)	年間25人					年間15人 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

2-5 健康づくりの推進							事業毎の効果	
①【市民の主体的な健康づくりの推進】 ②【生活習慣病の予防対策の推進】 ③【母子の健康管理体制の充実】 ④【感染症予防の総合的な推進】 ⑤【地域連携による食育の推進】							A：15/16件	B：0/16件
							C：0/16件	D：1/16件
							目標値	
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
健康アプリダウンロード件数	—	3,968件					1,000件 (令和6年度)	
赤ちゃん訪問実施率	91.9% (平成30年度時点)	87.4%					95% (令和6年度)	
不妊治療費助成事業利用件数	110件 (平成30年度)	123件					150件 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

2-6 地域医療の充実							事業毎の効果	
①【地域医療と救急体制の充実】 ②【市立三国病院における医療体制の充実】							A：3/3件	B：0/3件
							C：0/3件	D：0/3件
							目標値	
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
新改革プランの目標値の達成（病床利用率）	61.2% (平成30年度)	76.40%					70% (令和6年度)	

<基本計画および方針>

2-7 社会保障制度の適正運営						事業毎の効果	
①【国民健康保険の安定的な運営】 ②【後期高齢者医療の安定的な運営】 ③【介護保険事業の充実】 ④【国民年金制度の周知啓発】 ⑤【生活保護制度の適正な運用】 ⑥【生活困窮者自立支援制度の実施体制の充実】						A：3/6件	B：3/6件
						C：0/6件	D：0/6件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
生活困窮者自立支援 新規相談件数	202件 (平成30年度)	364件					200件 (令和6年度)

<外部有識者評価>

1.効果があった	障がい者福祉の充実については、コロナ禍の影響で求人数の減少にも関わらず、障がい者の一般就労へのつなぎの件数が増加するなど各事業の効果がみられている。この分野は効果が顕著に表れにくい部分もあるが、地道な事業継続が重要であり、コロナ禍に適応した施策の実施がより必要である。
2.将来的に効果が期待できる	
3.小さい効果があった	



令和2年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人					450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	211,542 人					480,000人 (令和6年度)

<基本構想における事業毎の効果>

A.効果があった	29/52件	基本構想対象の事業52件のうち、効果あった事業は29件で、半数強の事業で学ぶ意欲を支えるまちづくりに寄与していると考えます。学校へのタブレット端末の導入台数については、臨時交付金を利用したことにより、前出しで整備することができました。有効活用により、学びを充実させることが重要と考えられます。コロナ禍によりコミュニティセンター講座の減少は避けられないが、できる限り多くの人が受講できる取組が必要と考えます。
B.将来的に効果が期待できる	19/52件	
C.小さい効果があった	3/52件	
D.未着手	1/52件	

<基本計画および方針>

3-1 学校教育の充実							事業毎の効果	
①【教育内容の充実】 ②【個に応じた学習支援の充実】 ③【就学指導体制・教育相談体制の充実】 ④【安全な教育環境の整備】 ⑤【安全で安心な学校給食の充実】							A: 14/19件	B: 5/19件
							C: 0/19件	D: 0/19件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
大規模改造工事実施小学校数	毎年2校 (平成30年度)	2校					毎年2校 (令和6年度)	
学校へのタブレット端末 導入台数(累計)	200台 (平成30年度時点)	7,688台					500台 (令和6年度末)	

<基本計画および方針と基本施策>

3-2 社会教育・生涯教育の充実							事業毎の効果	
①【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】 ②【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】 ③【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】 ④【図書館機能の充実】							A: 7/14件	B: 6/14件
							C: 1/14件	D: 0/14件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
コミュニティセンターで開催され た講座数	332講座 (平成30年度)	288講座					350講座 (令和6年度)	
コミュニティセンターで開催され た講座の参加者数	24,262人 (平成30年度)	11,217人					26,000人 (令和6年度)	
市立図書館貸出冊数	860,183 冊 (平成30年度)	622,630 冊					880,000冊 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

3-3 歴史・文化・芸術の伝承と振興						事業毎の効果	
①【文化財の保存と活用】 ②【文化芸術活動の振興】						A：4/12件	B：8/12件
						C：0/12件	D：0/12件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
丸岡城入場者数	128,158人 (平成30年度)	69,616人					150,000人 (令和6年度)
みくに龍翔館来館者数 (館外活動参加者等を含む)	11,166人 (平成30年度)	5,516人					30,000人 (令和6年度)

3-4 生涯スポーツの振興						事業毎による効果	
①【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 ②【トップアスリートの育成】 ③【体育施設の効率的な管理運営】 ④【スポーツツーリズムの促進】						A：4/7件	B：0/7件
						C：2/7件	D：1/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
坂井市民スポーツ祭等参加者延べ 人数	9,397人 (平成30年度)	1,166人					11,500人 (令和6年度)
スポーツ推進委員主幹教室・大会 参加者数	93人 (平成30年度)	0人					150人 (令和6年度)

<外部有識者評価>

1.効果があった	コロナ禍の中、創意工夫により講座・イベントを開催しているものの、コミュニティセンターの受講者数やスポーツイベント参加者数等が目標値から大きく下回っているKPIが見受けられる。教育の充実のためにもコロナ禍により中止になった際の代替案を検討するなど、学びの機会について創出を図りたい。またタブレット端末が目標を大幅に超えた整備がなされ、今後は新しい生活様式による取組みの促進に期待する。
2.将来的に効果が期待できる	
3.小さい効果があった	



令和2年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

4 自然と共生できるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
クリーンキャンペーン参加者数	9,526人 (過去5年間平均)	—					10,000人 (計画期間内平均)

<基本構想における事業毎の効果>

A.効果があった	6/12件	基本構想対象の事業12件のうち、効果あった事業は6件で、半数の事業が将来の坂井市の持続可能な環境への取組が図られていると考えます。一方で令和2年度はコロナ禍のため、クリーンキャンペーンの中止や環境講座の開催が見送られたことにより、市民への環境問題への関心や学びについて例年に比べ弱かったと考えられ、今後の取組の強化が必要であると考えます。また温暖化対策の推進として、ゼロカーボンシティ宣言を行っており、脱炭素社会に向けた具体的な取り組みが今後の課題であり、検討が必要と考えます。
B.将来的に効果が期待できる	4/12件	
C.小さい効果があった	2/12件	
D.未着手	0/12件	

<基本計画および方針>

4-1 自然環境の保全と共生							事業毎の効果	
①【豊かな自然と共生する社会づくりの推進】 ②【環境について自ら考え行動できる人づくりの推進】 ③【地球温暖化対策の推進】							A: 3/5件	B: 0/5件
							C: 2/5件	D: 0/5件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
環境講座開催数	7回 (平成30年度)	0回					8回 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

4-2 循環型社会の構築							事業毎の効果	
①【ごみの減量化及び再資源化の推進】 ②【不適正処理の防止】							A: 2/2件	B: 0/2件
							C: 0/2件	D: 0/2件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
1人1日あたりのごみ排出量	875g (平成30年度)	844g					808g (令和6年度末)	

<基本計画および方針>

4-3 生活環境の保全と充実							事業毎の効果	
①【公害防止対策の推進】 ②【良好な生活環境の維持・保全】							A: 0/2件	B: 2/2件
							C: 0/2件	D: 0/2件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
条例等で定められた規制値の超過企業数	4件 (平成30年度)	3件					0件 (令和6年度末)	

<基本計画および方針>

4-4 美しい景観資源の活用						事業毎の効果	
①【ふるさと感じられる景観の継承】 ②【未来につながる美しい景観の創造】						A：1/3件	B：2/3件
						C：0/3件	D：0/3件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
景観まちづくり事業補助事業活用件数	3件 (平成30年度)	4件					11件 (令和6年度)

<外部有識者評価>

1.効果があった	<p>公害防止に対する取組み状況や1人1日あたりのごみ排出量の減少など一定の効果がみられている。一方で、環境イベント・環境講座がコロナ禍のため開かれることがなく、環境への学びの機会を創出できなかったことは残念である。環境問題に対する興味・関心の高まりの醸成のためにも、コロナ禍に配慮した事業の実施やSDGsの一環として講座を開くなど、工夫した取組みが求められる。</p>
2.将来的に効果が期待できる	
3.小さい効果があった	



令和2年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

5 地域資源を活かし活力に満ちたまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
製造品出荷額等	2,878億円 (平成30年度)	3,038億円					3,100億円 (令和6年度)
観光客入込客数	523万人 (平成30年度)	336万人					600万人 (令和6年度)

<基本構想における事業毎の効果>

A.効果があった	70/117件	基本構想対象の事業117件のうち、効果あった事業は70件で、農林水産業、商工業および観光業の振興に寄与している事業がありますが、コロナ禍の影響で、小さい効果も12件となっており、基本構想への寄与が弱い部分もあったと考えます。新規就農者は令和2年度はおらず、また認定農業者数が減っており、後継者の育成を含め継続した支援事業が必要と考えられます。製造品出荷額等は伸びており、また企業立地助成金の適用認定数も伸びていることから一定の事業効果が見られます。観光については、コロナ禍の影響のため、観光客数などは減少しており、コロナ禍の収束に備えた体制づくりも必要と考えます。
B.将来的に効果が期待できる	28/117件	
C.小さい効果があった	12/117件	
D.未着手	7/117件	

<基本計画および方針>

5-1 農林水産業の振興						事業毎の効果	
①【持続可能な農林水産業の推進】						A: 55/73件	B: 12/73件
②【農地・森林の環境の保持】						C: 2/73件	D: 4/73件
③【安全・安心な地場産物の消費拡大と付加価値向上】							
④【農林水産物を活用した観光・交流の推進による地域振興】							
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
新規就農者数	4人 (平成30年度)	0人					25人 (計画期間内)
認定農業者数	214経営体 (うち法人42) (平成30年度)	206経営体 (うち法人49)					300経営体 (うち法人50) (令和6年度末)
漁業生産量（底引き網漁業、沿岸漁業の合計）	532トン (平成24 ～28年度平均)	400トン					535トン (令和6年度)
底びき網漁船隻数	10隻 (平成30年度)	9隻					10隻 (令和6年度)
沿岸漁業者数	122人 (平成30年度)	123人					122人 (令和6年度)
農家レストラン・農産物直売所の来客数	108,918人 (平成30年度)	101,837人					156,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

5-2 商工業の振興						事業毎の効果	
①【商業経営の安定化と魅力ある地元商店街の形成】 ②【地域に根差す産業の支援の充実】 ③【企業誘致の推進、新規産業の創出支援】						A : 5/10件	B : 2/10件
						C : 2/10件	D : 1/10件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
空き店舗の活用による開業支援件数	1件 (平成30年度)	0件					15件 (計画期間内)
生産性・サービス向上講座の開催回数(異業種連携)	19回 (平成30年度現在)	16回					20回 (計画期間内)
企業誘致件数	3件 (平成30年度)	5件					15件 (計画期間内)

<基本計画および方針>

5-3 観光の振興						事業毎の効果	
①【観光資源・地域資源の魅力向上と多様な観光ニーズへの対応】 ②【広域交通網の活用推進】 ③【インバウンドの受け入れ体制の整備】 ④【観光情報の整理と効果的な発信】 ⑤【観光地域づくりのための組織形成と人材育成】						A : 8/25件	B : 8/25件
						C : 7/25件	D : 2/25件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
国内宿泊客数	186,707人 (平成29年度)	151,693人					200,000人 (令和6年度)
外国人宿泊客数	4,987人 (平成30年度)	543人					20,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

5-4 働く環境の充実						事業毎の効果	
①【雇用・就労機会の確保と労働環境の充実】 ②【多様な人材の確保や柔軟な働き方の実現】						A : 2/9件	B : 6/9件
						C : 1/9件	D : 0/9件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
インターンシップ受け入れ企業数	12社 (平成30年度)	0社					15社 (令和6年度)
坂井市シルバー人材センター登録者数	1,095人 (平成30年度)	1,046人					1,350人 (令和6年度)
給与収入者数(60歳以上)	11,474人 (平成30年度)	12,109人					12,500人 (令和6年度)

<外部有識者評価>

1.効果があった	観光客入込客数の大幅な減など、コロナ禍の影響が大きく表れている中で、インバウンドの体制整備などの受け入れに対する強化は、アフターコロナに向けて効果的であり継続が求められる。就業体験等に対する補助について、制度をより広くお知らせすることができていないことも考えられ、十分な周知により事業の効果を高める必要がある。コロナ禍による自粛期間が不透明な中の事業展開について検討が求められる。
2.将来的に効果が期待できる	
3.小さい効果があった	



令和2年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

6 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
人口集中地区の人口密度	3,934人/㎢ (平成27年度)	3,934人/㎢ (平成27年度)					4,000人/㎢ (令和6年度)

<基本構想における事業毎の効果>

A.効果があった	33/63件	基本構想対象の事業63件のうち、効果があった事業は33件で、将来に効果が期待できる事業が28件であり継続的な事業も含め、安全で快適な暮らしを支えるまちづくりに各種事業が繋がっていると考えます。自主防災組織数は伸びており、地域住民への災害に対する意識の醸成は着実に図られていますが、目標値には大きな開きがあり、防災訓練を通じた周知等、継続的な取組みが重要であると考えます。えちぜん鉄道乗客数およびコミュニティバス利用者数はコロナ禍の影響もあり目標値より下回っているところではありますが、運行効率等を勘案したオンデマンド型交通の導入も含め、市民の移動手段の確保の検討を進めます。
B.将来的に効果が期待できる	28/63件	
C.小さい効果があった	1/63件	
D.未着手	1/63件	

<基本計画および方針>

6-1 災害に強いまちづくりの推進							事業毎の効果	
①【治山・治水対策による災害の未然防止】 ②【総合的かつ計画的な防災・減災対策の推進】 ③【災害に強い市民の育成と防災機能の強化】 ④【地域コミュニティによる安全・安心の構築】 ⑤【国民保護対策の充実】							A: 4/16件	B: 11/16件
							C: 0/16件	D: 1/16件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
自主防災組織結成地区数	281地区 (平成30年度)	291地区					440地区 (計画期間内)	
坂井市防災訓練参加人数	18,197人 (平成30年度)	430人					25,000人 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

6-2 安全・安心対策の充実							事業毎の効果	
①【防犯対策の充実】 ②【消費者の自立支援と被害の未然・拡大の防止】 ③【交通事故による被害が少ない環境の創出】							A: 3/7件	B: 4/7件
							C: 0/7件	D: 0/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値	
交通事故死者数	3件 (平成30年度)	3件 (令和2年度)					0件 (令和6年度)	
さかいドライブレコーダー見守り協力隊（ドラレコ隊）加入件数	800件 (平成30年度)	1,000件 (令和2年度)					1,800件 (令和6年度)	

<基本計画および方針>

6-3 住環境の整備						事業毎の効果	
①【適正な土地利用の推進】 ②【快適な居住環境の創出】 ③【誰もが安心して利用できる公園・緑地の整備】						A：4/8件	B：4/8件
						C：0/8件	D：0/8件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
空き家バンク登録数	68件 (平成30年度)	32件					90件 (計画期間内)
坂井市空き家情報バンクに登録されている空き家の活用件数	5件 (平成30年度)	16件					30件 (計画期間内)

<基本計画および方針と基本施策>

6-4 安定した水の供給と良好な水環境の維持						事業毎の効果	
①【安全・安心な水の安定した供給】 ②【下水道施設の整備・管理と接続促進】 ③【上下水道事業の経営健全化】						A：7/8件	B：1/8件
						C：0/8件	D：0/8件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
上水道管の耐震化率	48% (平成30年度)	48.5%					60% (令和6年度)
下水道の水洗化率	92% (平成30年度)	93.2%					95% (令和6年度)

<基本計画および方針>

6-5 暮らしを支える道路網の整備						事業毎の効果	
①【広域的な道路網の整備】 ②【生活道路の計画的な整備】 ③【地域ぐるみによる除雪体制の強化】						A：5/8件	B：3/8件
						C：0/8件	D：0/8件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
橋梁修繕数（累計）	2件 (過去5年累計)	27件					42件 (計画期間内)
橋梁点検数（累計）	615件 (過去5年累計)	43件					615件 (計画期間内)

<基本計画および方針>

6-6 地域公共交通と広域ネットワークの充実						事業毎の効果	
①【地域公共交通の充実と利用促進】 ②【広域交通ネットワーク拠点の充実】						A：5/11件	B：5/11件
						C：1/11件	D：0/11件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
えちぜん鉄道乗客数 (1日平均9駅合計)	1,219人 (平成30年度)	888人					1,300人 (計画期間内)
コミュニティバス利用者数	90,118人 (平成30年度)	62,250人					91,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

6-7 情報ネットワーク社会の構築						事業毎の効果	
①【ICTによる行政サービスの向上と効率的な行政運営】 ②【ICTを活用した利便性の高い生活環境の実現】						A: 5/5件	B: 0/5件
						C: 0/5件	D: 0/5件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
福井県電子申請サービスを利用した手続の件数	20件 (平成30年度)	29件					50件 (令和6年度)

<外部有識者評価>

1.効果があった	コミュニティバスの運行については、コロナ禍の影響によるものもありますが、収支率については常に低調であるため、充実に向けた取組みの検討が求められる。空き家については、今後も増えることが考えられ全体を把握する中で、需要と供給のマッチングを効果的にすすめることで廃屋などの発生を抑え、良好な住環境が保たれるような取組みが必要と考えられる。
2.将来的に効果が期待できる	
3.小さい効果があった	



みんなが主役 未来の君が笑顔であるために

SDGs 坂井市

